

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒101-8441
 住 所 東京都千代田区神田錦町1-25
 氏 名 日清ペットフード株式会社
 代表取締役社長 田中 秀邦
 (代理人) 鶴見工場長 池田 克之
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日清ペットフード株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区大川町3-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	10	飲料・たばこ・飼料製造業
主たる事業 の内容	ペットフードの製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,942	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成 28年度 ～ 平成 30年度 (報告年度 平成 30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 5,550 t-CO ₂ (調) 5,490	(実) 5,752 t-CO ₂ (調) 5,689	(実) 5,780 t-CO ₂ (調) 5,718	(実) 5,862 t-CO ₂ (調) 5,797	(実) 5,382 t-CO ₂
削減率		(実) -3.6 % (調) -3.6	(実) -4.1 % (調) -4.2	(実) -5.6 % (調) -5.6	(実) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産量		単位	t-CO ₂ /t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.1397	0.1429	0.1423	0.1442	0.1355
削減率		-2.3 %	-1.9 %	-3.2 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	ペットの小型化・高齢化に伴う商品の小ロット多品種化や高加工度のプレミアムフード増加などの市場要求に対応するため、製造切替回数が増加してエネルギー使用量が増加した要因により、エネルギー使用量は増加した。これに対し生産効率改善の取り組み実施、高効率空調機への更新・LED照明に交換・蒸気配管保温補修などにより温室効果ガスの排出抑制に取り組んだが、結果としてCO ₂ 排出量は基準年度比3.6%増加した。
第2年度	ペットの小型化・高齢化に伴う商品の小ロット多品種化や高加工度のプレミアムフード増加などの市場ニーズに対応する為、製造切替回数が増加しエネルギー使用が増加となる。これに対し生産効率改善の取り組み及び省エネ教育を実施。エネルギー洩れ補修（E7-、蒸気、水）、高効率モーターへの更新・LED式に照明交換等で温室効果ガスの排出抑制に取り組んだが、結果としてCO ₂ 排出量は基準年度比4.1%増加した。
第3年度	ペットの小型化・高齢化に伴う商品の小ロット多品種化や高加工度のプレミアムフード増加などの市場ニーズに対応する為、製造切替回数が増加しエネルギー使用が増加となった。これに対し省エネルギー教育や生産効率改善の設備更新を実施した。高効率モーター・LED照明への更新及び、エネルギー洩れ補修（E7-、蒸気）、温室効果ガスの排出抑制に取り組んだが、設備の老朽化もあり結果としてCO ₂ 排出量は基準年度比5.6%増加した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制 ○小集団活動 ○省エネタイプの設備更新 ○設備高効率化改修 ○照明設備の運用、更新
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備：当工場内において、利益創出活動「環境・CO2削減を含む」を実施し、また、平成28年度も省エネ活動の啓蒙に取り組んだ。 ○省エネタイプの設備更新：LED照明への変更を実施（6台） ○設備高効率化改修：高効率モーターへの更新、高効率照明の採用（更新、新設）を推進した。 ○生産効率の改善：蒸気配管の保温補修を行い、熱効率の改善を行った。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備：当工場内において、利益創出活動「環境・CO2削減を含む」を実施。又、平成29年度も省エネ活動の啓蒙に取り組んだ。外部業者によるI社ギ-洩れ測定を実施。第3年度のI社ギ-洩れ改善の施策とする。 ○省エネタイプの設備更新：LED照明に変更。（6台） ○設備高効率化改修：高効率モーター、高効率照明を推進し採用を実施。 ○生産効率の改善：I社ギ-洩れ補修、設備高負荷防止への予防取組を実施。
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備：当工場内において、利益創出活動「環境・CO2削減を含む」を実施。又、平成30年度も省エネ活動に啓蒙に取り組んだ。 ○第2年度の外部業者によるI社ギ-洩れ測定後の補修を実施。（15箇所） ○省エネタイプ設備更新：高効率モーター更新（3台）、LED照明に更新（6台） ○設備高効率化改修：高効率モーター、高効率照明を推進し採用を実施。 ○生産効率の改善：I社ギ-洩れ補修、設備高負荷防止への予防取組を実施。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	無し

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物の減量化・分別化の推進を図る。 2. 取得済みのISO14001の活動の一環として、環境に関する教育を行う。 3. グリーン購入の推進を行う。 4. 運送業者等に対するエコドライブ実施の協力要請を行う。
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃ラの廃棄物削減に取り組み、産業廃棄物量を削減した。 2. 全従業員を対象にした環境研修を開催し、環境保全目標の周知、省エネ取り組みについて教育した。
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当工場で発生する産業廃棄物をリサイクル化（再資源化）できる商社がないか開拓をしている。 2. 木屑パレットの修理を行い、産業廃棄物量を削減した。 3. 従業員を対象に環境研修を実施。環境目標である廃棄物削減目標と廃棄物発生量を毎月報告し、情報の共有化を図りながら省エネ取組について教育を行った。
第3年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 従業員を対象に環境研修を実施。（CO2、3R、川崎市一般廃棄物処理基本計画） 2. 環境保全の強化。（空調温度設定・電気消灯・ごみ分別化・食べ残しをしない） 3. 運搬業者エコドライブへの取組状況確認。継続的なエコドライブの協力を要請。 4. 環境目標である廃棄物削減目標、CO2削減目標と廃棄物・CO2削減発生量を毎月報告し、情報の共有化を図りながら省エネ取組について教育を行った。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	5,646	t-CO ₂
(調)	5,552	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
日清ペットフード㈱ 鶴見工場	川崎市川崎区大川町3-1	1061	ペットフード製造	5,646 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--